SONY

3-245-816-**01** (1)

ラジオカセットコーダー

取扱説明書•保証書/Operating Instructions/사용설명서

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN

WM-GX202

VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Sony Corporation ©2002 Printed in Malaysia

ラジオカセットコーダー
WM-GX202
T11-1001A-1

ご注意
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

主な特長

- ソニーアルカリ乾電池（別売り）の使用で**24時間連続再生が可能**（ヘッドホン使用時）
- 耳にやさしい音量にする、AVLS（**快適音量）スイッチ**
- 高音と低音を強調する、SOUND BOOST（サウンドブースト）**スイッチ**
- ヘッドホンなしでも楽しめる、**大音量スピーカー**
- テレビ（1〜3ch）の音も聞ける、FM**チューナー**
- 内蔵マイクで**簡単録音**

付属品を確かめる

- **ソニーマンガン乾電池** R6P(SR)(2**本**)**（お試し用*）**
- **ヘッドホン**
- **取扱説明書・保証書**
- **ソニーご相談窓口のご案内**

*付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

安全のために

⚠警告

- 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しないでください。乾電池の＋と－が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

•所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
•保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

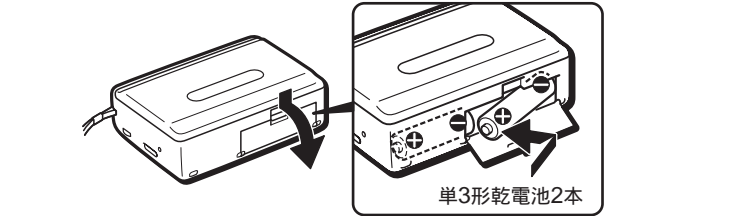
"ウォークマン"、"WALKMAN"、" WALKMAN "はソニー株式会社の登録商標です。

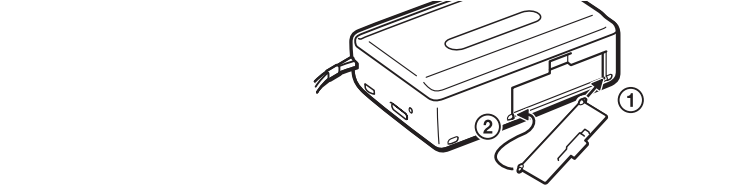
準備する

ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、裏面の「電源」をご覧ください。

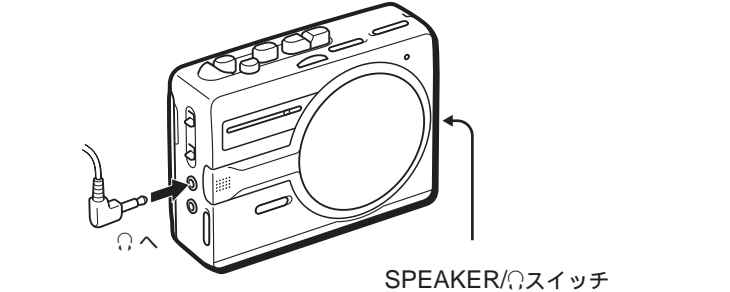
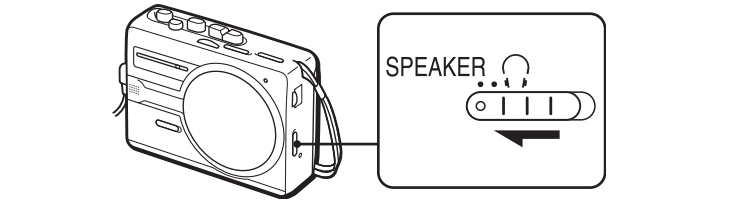
1 乾電池を入れる

単3形乾電池（2本）を、図のように⊕と⊖の向きを正しく入れてください。

単3形乾電池2本

ご注意
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

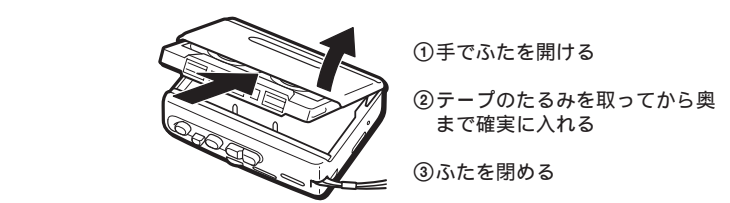
電池ぶたがはずれたときは
図のように取り付けます。

2 ヘッドホンをつなぐ

SPEAKER/🎧スイッチを「🎧」に合わせます。

🎧へ
SPEAKER/🎧**スイッチ**

スピーカーで使うには
SPEAKER/🎧スイッチを「SPEAKER」に合わせます。
スピーカーから音が聞こえ、ヘッドホンからは音が聞こえなくなります。
また、AVLSスイッチは働きません。

- FM、**テレビ放送を聞くときは、ヘッドホンのコードがアンテナとして働くので、スピーカーで聞く場合もヘッドホンはつないだままにします。**

テープを聞く

1 カセットを入れる

①手でふたを開ける
②テープのたるみを取ってから奥まで確実に入れる
③ふたを閉める

2 「テープ」にする

（ラジオ切）テープ/AM/FM**スイッチを「（ラジオ切）テープ」に合わせる**

3 再生する

①►PLAY•**再生ボタンを押す**
②VOL**つまみで音量を調節する**

その他のテープ操作

操作	操作するボタンまたはスイッチ
停止*	■STOP•停止
早送り／巻き戻し**	停止中に►►FF/CUE•早送り/キューまたは◄◄REW/REVIEW•巻戻し/レビュー
一時停止	PAUSE⟶•一時停止スイッチを矢印の方向へずらす。解除するには、スイッチを元に戻す。
音を聞きながら早送りする（キュー）	再生中に►►FF/CUE•早送り/キューを押し続ける。
音を聞きながら巻き戻す（レビュー）	再生中に◄◄REW/REVIEW•巻戻し/レビューを押し続ける。

* 再生時は、テープが終わりまでくると自動的に止まり、電源が切れます（オートシャットオフ機能）。
** 早送り／巻き戻しをしてテープが巻き取られたあとそのままにしておくと、電池が急激に消耗するので、必ず■STOP•停止ボタンを押してください。

[!] テープ走行中はカセットぶたを開けないでください。

ラジオを聞く

1 「AM」または「FM」を選ぶ

（ラジオ切）テープ/AM/FM**スイッチを「AM」または「FM」に合わせる**

- FM、**テレビ放送を聞くときは、ヘッドホンのコードがアンテナとして働くので、スピーカーで聞く場合もヘッドホンはつないだままにします。**
- テレビ（1chから3ch）の音を聞くときは、「FM」にします。

2 放送局を選ぶ

①TUNING•**選局つまみを回して選局する**
②VOL**つまみで音量を調節する**

ラジオを消すには
（ラジオ切）テープ/AM/FMスイッチを「（ラジオ切）テープ」に合わせます。

受信状態をよくするには

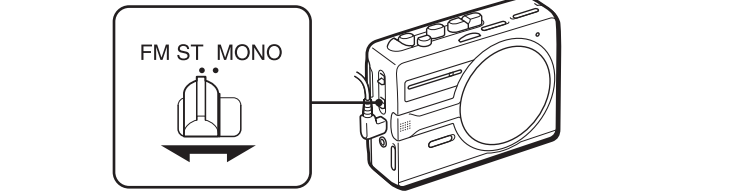
AM放送
アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、最もよく受信できる向きにしてお聞きください。

FM、テレビ放送
ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき
- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合はお近くのサービス窓口にご相談ください。
- 本体を他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、ラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部の金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなるときがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき
ステレオ放送を聞くときはFM ST/MONOスイッチを「FM ST」に合わせます。雑音が多いときは「MONO」にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。また、AM、テレビはステレオにはなりません。

FM ST MONO

録音する

片面録音ができます。録音には、TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。
ツメが折れている面には録音できません（「大切な録音を守るには」参照）。

[!] 録音するときは、2本ともなるべく新しい乾電池をお使いください。

1 カセットを入れる

①手でふたを開ける
②録音したい面をふた側にし、テープのたるみを取ってから奥まで確実に入れる
③ふたを閉める

2 音源を選ぶ

内蔵マイク録音の場合

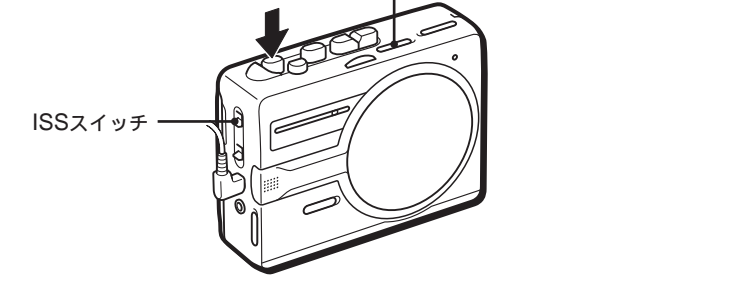
①（ラジオ切）テープ/AM/FMスイッチを「（ラジオ切）テープ」に合わせる
②発言者の声を内蔵マイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置く

ラジオ録音の場合

①ヘッドホンをつなぐ
コードがFM、TVのアンテナになっています。
②FMかAMを受信する（「ラジオを聞く」参照）
TUNING•選局つまみ
（ラジオ切）テープ/AM/FMスイッチ

3 録音を始める

●REC•**録音ボタンを押す**
►PLAY•再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

PAUSE⟶•**一時停止スイッチ**
ISS**スイッチ**

テープが終わりまでくると
録音を始めた面の終わりで自動的に録音が止まります。録音を続けるときはテープ面を入れ替えて録音操作をしてください。

録音を一時停止するには
録音中にPAUSE⟶•一時停止スイッチを矢印の方向にすると、録音は一時停止します。録音を再開するときは、PAUSE⟶•一時停止スイッチを矢印と反対の方向にします。

録音を止めるには
■STOP•停止ボタンを押します。

AMを録音中にピーという雑音が聞こえたら
ISSスイッチを雑音が消える位置（1、2または3）に切り換えます。

録音中の音を聞くには
ヘッドホンを🎧（ヘッドホン）ジャックにつなぎます。
聞こえる音量は一定で、VOL（音量）つまみで調節することはできません。

後追い録音をする
再生中に●REC•録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く（ワンタッチレビュー）
録音中に◄◄REW/REVIEW•巻戻し/レビューボタンを押すと、押している間はテープが巻き戻され、離すとそこから再生が始まります。

録音レベルについて
録音レベルは一定です。録音される音はVOLつまみ、AVLSスイッチ*、SOUND BOOSTスイッチ*の設定に影響されません。
*「好みの音に調節する」を参照してください。

録音についてのご注意
•●REC•録音ボタンは録音開始の2秒くらい前に押してください。直前に押すと最初の部分が録音されません。
•録音するテープにはTYPE I（ノーマル）テープをお使いください。
ハイポジション(CrO_2)テープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。
•電池が消耗してBATTランプが消えると、録音に雑音が入ったり、性能を充分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池を新しいものと交換してください。
•録音中に音を聞きたいときは、SOUND BOOSTスイッチを「OFF」の位置にしてください。「ON」にすると雑音が聞こえることがあります。

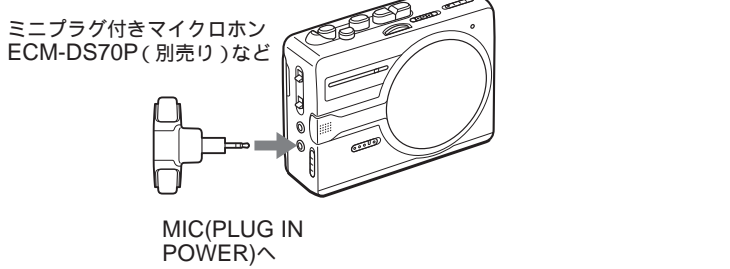
►その他の機能を使う

外部マイクや他の機器から録音する

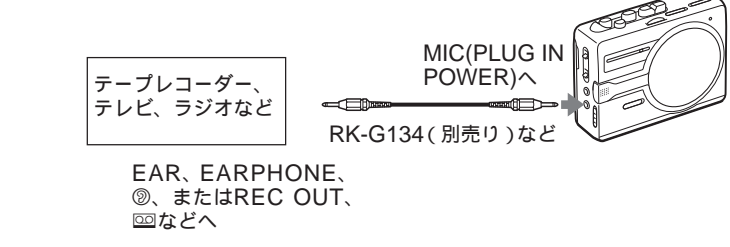
ご注意 録音する前に
•接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
•接続や音量調節の失敗を防ぐため、必ず事前にためし録りをしてください。
•下記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク（別売り）で録音する

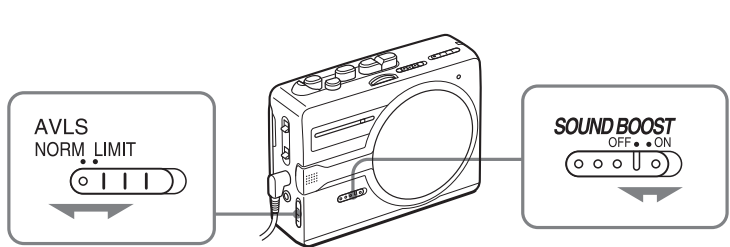
MIC(PLUG IN POWER)ジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

ミニプラグ付きマイクロホン
ECM-DS70P（**別売り）など**
MIC(PLUG IN POWER)**へ**

本機にカセットを入れ、●REC•録音ボタンを押します。

他の機器から録音する

テープレコーダー、テレビ、ラジオなど
EAR、EARPHONE、◎、**または**REC OUT、📼**などへ**
RK-G134（**別売り）など**
MIC(PLUG IN POWER)**へ**

1 本機にカセットを入れます。
2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。（テレビやラジオのREC OUTや📼ジャックなどから録音するときは、他の機器で音量を変えても録音には影響しません。）
3 本機の●REC•録音ボタンを押します。

好みの音に調節する（ヘッドホン使用時のみ）

AVLS NORM LIMIT
SOUND BOOST OFF ON

❒ 高音と低音を強調する

SOUND BOOSTスイッチを「ON」に合わせます。
音がひずんだように聞こえる曲では「OFF」に合わせます。

ご注意
AVLSスイッチが「LIMIT」になっているときは、SOUND BOOSTの効果は減少します。

❒ 音もれを抑え耳にやさしい音にする（快適音量）

AVLSスイッチを「LIMIT」にします。
AVLSスイッチ使用中に、低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは、音量を下げて使います。

SOUND BOOSTスイッチ、AVLSスイッチは録音される音には影響しません。

▶*電源*

乾電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、BATTランプが暗くなります。
テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換してください。
乾電池は、別売りのアルカリ電池の使用をおすすめします。

電池の持続時間*

使用電池 / 測定条件	ソニーアルカリ乾電池LR6 (SG)**	ソニーマンガン乾電池R6P(SR)
(ヘッドホン使用)		
テープ再生時	約24時間	約7時間
ラジオ受信時	約48時間	約15時間
マイク録音時	約20時間	約4.5時間
ラジオ録音時	約12時間	約3時間
(スピーカー使用)		
テープ再生時	約15時間	約4.5時間
ラジオ受信時	約26時間	約6時間
ラジオ録音時	約11.5時間	約3時間

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。（ソニーHF シリーズカセットテープ使用）
** 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

ご注意
- 電池持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

1 別売りのACパワーアダプターAC-E30L（日本国内用）またはAC-E30HG（海外用）を本体側面のDC IN 3Vジャックにつなぐ。
電源は、自動的に内蔵の乾電池からACパワーアダプターに切り換わります。
2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ。

コンセントにつないで使うときはご注意ください。
- 別売りのACパワーアダプターAC-E30LまたはAC-E30HG（極性統一形プラグ：JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- AC-E30HGは、地域により異なる仕様になっています。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。
- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

極性統一形プラグ

▶*その他*

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。
まずレバーを押しながら、●REC•録音ボタンを押し込みます。ヘッドやピンチローラーが出てきますので、綿棒などできれいにふいてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

録音について

- MIC(PLUG IN POWER)ジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っての録音はできません。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- マイク録音中はスピーカーから音は聞こえません。ヘッドホンで聞いてください。
- 録音中の音をヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンの音をマイクが拾い、ピーッという音が生じることがあります（ハウリング現象）。この場合には、音量を下げてください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音ができます。

取り扱いについて

- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。
- 次のような場所に置かないでください。
  ー直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  ーダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  ー磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  ーホコリの多いところ。
  ー風呂場など、湿気の多いところ。
- 長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなることがあります。
- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターに相談してください。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

ヘッドホンについて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
スピーカーから音が出ない	SPEAKER/🎧スイッチが「🎧」になっている。	「SPEAKER」に合わせる。
ヘッドホンから音が出ない	SPEAKER/🎧スイッチが「SPEAKER」になっている。	「🎧」に合わせる。
再生ができない	（ラジオ切）テープ/AM/FMスイッチの位置が違っている。	「（ラジオ切）テープ」に合わせる。
	PAUSE ━▶•一時停止スイッチが働いている。	PAUSE ━▶•一時停止スイッチを解除する。
テープが回っていても音が聞こえない	電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
ラジオが聞こえない	（ラジオ切）テープ/AM/FMスイッチの位置が違っている。	「AM」または「FM」に合わせる。
●REC•録音ボタンが押せない	誤消去防止用のツメが折れている。	穴をセロハンテープなどでふさぐ。（「大切な録音を守るには」参照）
音量が大きくならない	AVLSスイッチが働いている。	AVLSスイッチを「NORM」にする。
高音や低音が強すぎたり、ひずんだように聞こえる	SOUND BOOSTスイッチが「ON」になっている。	SOUND BOOSTスイッチを「OFF」にする。
雑音が入ることがある	本機の近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
雑音が多く、音質がよくない	電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
	ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。	市販の綿棒とクリーニング液できれいにする。
音が途切れる雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	プラグをきれいにクリーニングする。
	乾電池が消耗している。	乾電池を2本とも新しいものと交換する。
FM の受信状態が悪い	ヘッドホンが抜けている。	ヘッドホンをつなぐ。
AMの受信状態が悪い	本体の向きが悪い。	本体を回して受信状態のよいほうに向ける。（「ラジオを聞く」参照）
前の録音が完全には消えない	ヘッドが汚れている。	ヘッドをクリーニングする。（「お手入れ」参照）
	ハイポジション、メタルのテープを使っている。	TYPE I（ノーマル）テープを使う。

ご案内
ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金 9:00から18:00まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
● Fax ………………………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

主な仕様

●テープレコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
スピーカー	直径5 cm
周波数範囲*	再生時：40～15 000 Hz 録音・再生時：100～8 000 Hz
入力端子	マイク（ステレオミニ）ジャック1個 最小入力レベル　0.2 mV
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニ）ジャック1個 負荷インピーダンス　8～300 Ω
実用最大出力(DC時)*	スピーカー：500 mW ヘッドホン：5 mW + 5 mW
電源	DC 3 V、単3形乾電池2個
電池持続時間*	乾電池の持続時間については「電源」をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
外形寸法	約112.0 × 82.5 × 37.5 mm（幅/高さ/奥行き）（最大突起含まず）
最大外形寸法*	約113.0 × 87.0 × 37.5 mm（幅/高さ/奥行き）（突起部含む）
質量	約187 g（本体のみ）、約223 g（乾電池含む）

●ラジオ部

受信周波数	T V（モノラル）：1～3ch FM（ステレオ）：76.0～90.0MHz AM（モノラル）：531～1 710kHz

●別売りアクセサリー
ACパワーアダプター AC-E30L（日本国内用）、ACパワーアダプター AC-E30HG（海外用）、ステレオイヤーレシーバー（ヘッドホン）MDR-E848V、MDR-E837V、カーバッテリーコード DCC-E230、エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-717、ECM-DS70P、ECM-TS125、接続コードRK-G134

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
* 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。

各部のなまえ

1. ▶▶FF/CUE•早送り/キューボタン
2. ◀◀REW/REVIEW•巻戻し/レビューボタン
3. ▶PLAY•再生ボタン*
4. ■STOP•停止ボタン
5. ● REC•録音ボタン
6. ISS（AM放送録音妨害除去）スイッチ
7. カセットぶた
8. FM ST/MONO（FMステレオ／モノラル切り換え）スイッチ
9. 🎧（ヘッドホン）ジャック
10. MIC（マイク）（PLUG IN POWER）ジャック*
11. AVLS（快適音量）スイッチ
12. PAUSE（ポーズ）━▶•一時停止スイッチ
13. (RADIO OFF) TAPE/AM/FM•（ラジオ切）テープ/AM/FMスイッチ
14. BATT（バッテリー）（電池）ランプ
15. VOL（ボリューム）（音量）つまみ**
16. TUNING（チューニング）•選局つまみ
17. SPEAKER（スピーカー）/🎧（スピーカー／ヘッドホン切り換え）スイッチ
18. DC IN 3Vジャック
19. 内蔵マイク
20. SOUND BOOST（サウンドブースト）（高音／低音強調）スイッチ
21. 電池ぶた

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。
** 音量「大」の方向に凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

Preparations

To Insert batteries

Slide open the battery compartment lid, and insert two R6 (size AA) dry batteries with correct polarity.

Replace the batteries with new ones when the BATT indicator dims.

Note
For maximum performance we recommend that you use Sony alkaline batteries.

Battery life* (approximate hours)

	Sony alkaline LR6 (SG)**	Sony R6P (SR)
(using headphones / earphones)		
Tape playback	24	7
Radio reception	48	15
Mic recording	20	4.5
Radio recording	12	3
(using the speaker)		
Tape playback	15	4.5
Radio reception	26	6
Radio recording	11.5	3

* Measured value by the standard of JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association). (Using a Sony HF series cassette tape)
** When using Sony LR6 (SG) “STAMINA” alkaline dry batteries (produced in Japan).

Note
The battery life may be shorter depending on the operating condition, the surrounding temperature and battery type.

To use external power

Connect the AC power adaptor AC-E30L for Japan (not supplied) or AC-E30HG for overseas (not supplied) to the DC IN 3V jack and to the wall outlet. Do not use any other AC power adaptor. Specifications for AC-E30HG varies for each area. Check your local voltage and the shape of plug before purchasing.

Notes
- Connect the AC power adaptor to an easily accessible AC outlet. Should you notice an abnormality in the AC power adaptor, disconnect it from the AC outlet immediately.
- Do not touch the AC power adaptor with wet hands.

Playing a tape

1. Insert a cassette.
2. Set (RADIO OFF) TAPE / AM / FM to (RADIO OFF) TAPE.
3. Press ▶PLAY.

To	Press/switch
Stop playback*	■STOP
Fast-forward or rewind the tape**	▶▶FF / CUE or ◀◀REW / REVIEW during stop
Search forward during playback (CUE)	Press and hold ▶▶FF / CUE and release it at the point you want
Search backward during playback (REVIEW)	Press and hold ◀◀REW / REVIEW and release it at the point you want
Pause playback	PAUSE ━▶ in the direction of the arrow *To release pause, slide PAUSE ━▶ to the opposite direction of the arrow.*

* When the tape ends, the depressed button ▶PLAY is released automatically (Auto shut-off function).
** If you leave the unit after the tape has been wound or rewound, the batteries will be consumed rapidly. Be sure to press ■STOP.

Note
Do not open the cassette holder while the tape is running.

To use the speaker

Set SPEAKER / 🎧 to SPEAKER. The sound will play from the speaker and no sound from the headphones / earphones. When the speaker is in use, the AVLS function will not work.

Listening to the radio

Since the headphones / earphones cord serves as an FM antenna, connect the headphones / earphones even when using the speaker.

1. Set (RADIO OFF) TAPE / AM / FM to AM or FM.
   When listening to the TV sound (1 - 3 ch) in Japan, set it to FM.
2. Turn TUNING to tune in to the station you want.

To turn off the radio

Set (RADIO OFF) TAPE / AM / FM to (RADIO OFF) TAPE.

To improve broadcast reception

- **For AM:** Reorient the unit itself.
- **For FM:** Extend the headphones / earphones cord (antenna). If the reception is still not good, adjust FM ST / MONO.

Recording

Notes
- If the record-protect tab is broken, you cannot record on that side.
- Use new batteries when recording.
- If a howling occurs, turn down the volume.
- When recording with the microphone, the sound to be recorded cannot be heard through the speaker.

1. Insert a TYPE I (normal) tape .
2. **To record with the built-in microphone:**
   ① Place the unit on a hard surface (such as a desk) with the cassette holder side down, so that the microphone can record effectively.
   ② Set (RADIO OFF) TAPE / AM / FM to (RADIO OFF) TAPE.
   To record from the radio:
   ① Set (RADIO OFF) TAPE / AM / FM to AM or FM.
   ② Tune in to the station you want to record (see “Listening to the Radio”).
3. Press ●REC.
   ▶PLAY is pressed simultaneously and recording starts.
   The recording level is automatically adjusted.

To	Press/switch
Pause a recording	PAUSE
Stop recording	■ STOP
Start recording during playback	● REC during playback

To reduce noise while recording AM programs

set ISS (Interference Suppress Switch) to the position that reduces noise the most.

Notes on recording

- The recording level is fixed.
- Actual recording will start about 2 seconds after you press ● REC. Press ● REC about 2 seconds before the moment you want to start recording, or you will miss the beginning of your recording.
- Do not use a high-position (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape. If you do, the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.
- Do not connect or disconnect the headphones / earphones to / from the 🎧 jack while recording from the radio. The recording condition may change abruptly, or noise may be recorded.
- When recording with the microphone, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp as this may cause interference noise.
- No other operation can be done while recording. For other operations, stop recording first.

To prevent a tape from being accidentally recorded over

Break off the tabs from side A and / or B. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

Recording from various sound sources

To record with an external microphone

Connect an external microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack.

Use a microphone such as the ECM-DS70P (not supplied).
When using a plug-in-power system microphone, the power to the microphone is supplied from this unit.

To record from another equipment

Connect another equipment to the MIC (PLUG IN POWER) jack using such as the RK-G134 connecting cord (not supplied).

Using Other Functions
(Only when using headphones/earphones)

Protecting your hearing—AVLS (Automatic Volume Limiter System)

Set AVLS to LIMIT. The maximum volume is kept down to protect your ears even if you turn the volume up.
To cancel the AVLS function, set AVLS to NORM.

Listening with powerful sound

Set SOUND BOOST to ON to obtain the Sound Boost effect which emphasizes both treble and bass.

Note
When you set AVLS to LIMIT, the SOUND BOOST effect is reduced.

사용하기 위한 준비

배터리를 넣으려면
배터리실 뚜껑을 밀어서 열고 R6(AA 사이즈) 건전지 2개를 올바른 방향으로 넣습니다.

BATT 표시가 어두워지면 배터리를 새 것으로 교환하여 주십시오.

주의점
성능을 최대한으로 활용하기 위해서 Sony 알카라인 전지를 사용하실 것을 권장합니다.

배터리 지속 시간*(대략적인 시간)

	Sony 알카라인 LR6(SG)**	Sony R6P (SR)
(헤드폰/이어폰 사용시)		
재생	**24**	**7**
라디오	**48**	**15**
마이크 녹음	**20**	**4.5**
라디오 녹음	**12**	**3**
(스피커 사용시)		
재생	**15**	**4.5**
라디오	**26**	**6**
라디오 녹음	**11.5**	**3**

* **JEITA(Japan Electronics and Information Technology Industries Association) 규격에 의한 측정치입니다.(Sony HF 시리즈 카세트 테이프 사용)**
** **Sony LR6(SG) “STAMINA” 알카라인 건전지(일본 국내에서 제조) 사용시.**

주의점
주의 조건이나 주위 온도, 배터리의 종류에 따라서는 배터리 지속 시간이 짧아지는 경우가 있습니다.

외부 전원을 사용하려면
일본 국내용 AC 전원 어댑터 AC-E30L(별매품) 또는 해외용 AC-E30HG(별매품)을 DC IN 3V 단자와 콘센트에 연결합니다. 그 밖의 AC 전원 어댑터는 사용하지 마십시오.
AC-E30HG의 주요 제원은 지역마다 다릅니다. 거주 지역의 전압과 플러그 형상을 확인한 후 구입하여 주십시오.

주의점
- **AC 전원 어댑터는 사용하기 편리한 위치의 AC 콘센트에 연결하십시오. AC 전원 어댑터에 이상이 생겼을 때에는 AC 콘센트에서 즉시 빼 주십시오.**
- **AC 전원 어댑터는 젖은 손으로 만지지 마십시오.**

테이프를 재생하기

1. **테이프를 넣습니다.**
2. **(RADIO OFF) TAPE/AM/FM을 (RADIO OFF) TAPE로 설정합니다.**
3. **▶ PLAY를 누릅니다.**

목적	누르거나/전환
재생 정지*	**■ STOP**
고속감기 또는 되감기**	**▶▶ FF/CUE 또는 정지 중에 ◀◀ REW/REVIEW**
재생 중에 앞방향으로 검색(CUE)	**▶▶ FF/CUE를 누르고 있다가 원하는 위치에서 놓는다.**
재생 중에 뒷방향으로 검색(REVIEW)	**◀◀ REW/REVIEW를 누르고 있다가 원하는 위치에서 놓는다.**
재생 일시정지	**화살표 방향으로 PAUSE ━▶.** ***일시정지를 해제하려면 PAUSE ━▶를 화살표 반대 방향으로 민다.***

* **테이프가 끝나면 누른 버튼 ▶ PLAY가 자동 해제됩니다(자동 정지 기능).**
** **본 기기는 테이프의 고속감기나 되감기 조작이 끝난 상태로 방치하면 배터리가 급속히 소모됩니다. 반드시 ■ STOP을 눌러 주십시오.**

주의점
테이프의 주행 중에 카세트 홀더를 열지 마십시오.

스피커를 사용하려면
SPEAKER/🎧를 SPEAKER로 밀어 놓습니다. 스피커를 통해서 사운드가 들리고 헤드폰/이어폰에서는 사운드가 들리지 않습니다. 스피커를 사용하는 동안에는 AVLS 기능은 작동하지 않습니다.

라디오를 듣기

코드가 FM 안테나 역할을 하므로 스피커를 사용하는 경우에도 헤드폰/이어폰을 연결하여 주십시오.

1. **(RADIO OFF) TAPE/AM/FM을 AM 또는 FM로 설정합니다.**
   일본에서 TV 사운드(1-3 ch)를 들으려면 FM로 설정합니다.
2. **TUNING을 돌려서 원하는 방송국을 수신합니다.**

라디오를 끄려면
(RADIO OFF) TAPE/AM/FM을 (RADIO OFF) TAPE로 설정합니다.

방송이 잘 들리도록 하려면
- AM인 경우: **본 기기의 방향을 변경하여 주십시오.**
- FM인 경우: **헤드폰/이어폰 코드(안테나)를 늘어뜨려 주십시오. 그래도 잘 들리지 않을 때에는 FM ST/MONO를 조절하여 주십시오.**

녹음하기

주의점
- **쓰기 방지 탭이 제거되어 있는 면에는 녹음할 수 없습니다.**
- **녹음에는 새 배터리를 사용하여 주십시오.**
- **하울링이 발생했을 때에는 음량을 낮추어 주십시오.**
- **마이크로폰을 사용해서 녹음하는 경우 녹음 사운드는 스피커에서 출력되지 않습니다.**

1. **TYPE I(노멀) 테이프를 넣습니다.**
2. 내장 마이크로폰으로 녹음하려면:
   ① **마이크로폰을 사용해서 효과적으로 녹음할 수 있도록 카세트 홀더를 아래로 해서 딱딱한 면(책상 등) 위에 올려놓습니다.**
   ② **(RADIO OFF) TAPE/AM/FM을 (RADIO OFF) TAPE로 설정합니다.**
   라디오를 녹음하려면:
   ① **(RADIO OFF) TAPE/AM/FM을 AM 또는 FM로 설정합니다.**
   ② **녹음하고 싶은 방송국을 수신합니다(“라디오를 듣기” 참조).**
3. **●REC을 누릅니다.**
   ▶ PLAY가 동시에 눌려지고 녹음이 시작됩니다.
   녹음 레벨은 자동 조절됩니다.

목적	누르거나/전환
녹음 일시정지	**PAUSE**
녹음 정지	**■ STOP**
재생 중에 녹음 시작	**재생 중에 ● REC**

AM 프로그램을 녹음할 때 노이즈를 줄이려면
ISS(장애전파억제 스위치)를 노이즈가 가장 줄어드는 위치로 설정합니다.

녹음에 관한 주의
- **녹음 레벨은 일정합니다.**
- **실제 녹음은 ●REC를 누른 약 2초 후에 시작됩니다. 녹음을 시작하고 싶은 위치의 약 2초 전에 ●REC을 누르지 않으면 처음 부분은 녹음되지 않습니다.**
- **하이포지션(TYPE II) 또는 메탈(TYPE IV) 테이프는 사용하지 마십시오. 테이프를 재생하면 사운드가 왜곡되거나 이전 녹음이 완전이 소거되지 않는 경우가 있습니다.**
- **라디오를 녹음하는 동안에 🎧 단자에서 헤드폰/이어폰을 넣었다 뺐다 하지 마십시오. 녹음 상태가 갑자기 변경되거나 노이즈가 녹음되는 경우가 있습니다.**
- **마이크로폰으로 녹음할 때에는 간섭이 발생하는 경우가 있으므로 램프 코드나 형광등 가까이 놓지 마십시오.**
- **녹음 중에는 다른 조작을 할 수 없습니다. 그 밖의 조작을 하려면 우선 녹음을 중지하여 주십시오.**

테이프의 녹음 내용을 실수로 소거하지 않으려면
A면 또는 B면 탭을 제거하여 주십시오. 테이프에 다시 녹음하려면 탭을 제거한 구멍을 셀로판 테이프 등으로 막아 주십시오.

다양한 음원에서 녹음하기

외장 마이크로폰을 사용해서 녹음하기
외장 마이크로폰을 MIC(PLUG IN POWER) 단자에 연결합니다.

ECM-DS70P(별매품) 등의 마이크로폰을 사용하여 주십시오.
플러그 인 파워 방식 마이크로폰을 사용하면 마이크로폰의 전원은 본 제품에서 공급됩니다.

다른 기기에서 녹음하기
RK-G134 등의 연결 코드(별매품)를 사용해서 다른 기기를 MIC(PLUG IN POWER) 단자에 연결합니다.

다른 기능 사용하기
(헤드폰/이어폰 사용시)

청력을 보호하기
— AVLS(자동 음량 제한 시스템)
AVLS를 LIMIT로 설정합니다. 최대 음량이 제한되고 음량을 높여도 청력이 보호됩니다.
AVLS 기능을 취소하려면 AVLS를 NORM으로 설정하여 주십시오.

박력있는 사운드를 즐기려면
SOUND BOOST를 ON으로 설정해서 고음 및 저음 양쪽 모두 강조할 수 있는 사운드 부스트 효과를 켜 주십시오.

주의점
AVLS를 LIMIT로 설정하면 SOUND BOOST 효과가 약해집니다.